

あけぼのすぎ

都立府中療育センター新聞 第473号 発行日 平成29年4月28日

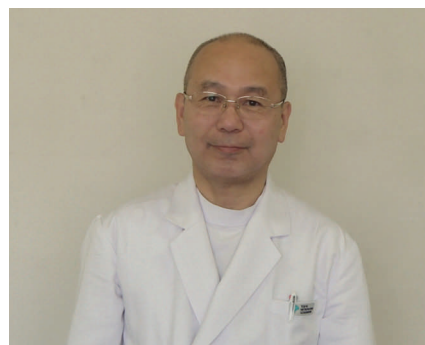
着任挨拶

おおしま あきら
院長 大島 哲

平成4年より22年余り、府中病院（多摩総合医療センター）で外科医として勤務してまいりました。最近の2年7か月は、墨東病院の副院長でした。もっぱら急性期医療に携わってまいりました。皆様と協力して府中療育センターを運営してまいりたいと思います。

さて、長年の懸案であったセンターの改築につきましては、昨年9月に実施計画がまとまり、現在旧府中病院の解体が進んでいます。今後は、多摩療育園と共同し、建物のみならず、機能的にも充実した新センターを作り上げていくことを目指してまいります。

一方、当院の理念「質の高い療育・医療サービスを提供し、重症心身障害児（者）の生活が豊かなものになるように支援します」を達成するために、急速に進む少子高齢化と、改正障害者基本法をみすえて、目標を設定し、実行していくことは喫緊の課題です。そのため、チームとしての療育と、地域連携が大切と考えます。連綿と続く輝かしい歴史を汚すことなく、皆様とともにより良い療育センターを作っていくしたいと思いますので、よろしくをお願いします。



退任挨拶

やなせ おさむ
前院長 柳瀬 治

平成29年3月31日をもって定年退職いたしました。30余年に亘る都立病院勤務の最後の5年間を府中療育センターの院長として重症心身障害児者の療育にかかわる機会をいただいたことを深く感謝しております。この間に私が最も感銘を受けたことは、障害児者の命の輝きを支えるために医療職、福祉職および事務職の皆さんが見事なまでに連携していく姿でした。また、総合療育センターを目指しての全面改築設計の策定、事業を継続しながらの施設の耐震補強工事など、職員の皆さん一人ひとりの協力がなければ成し遂げることはできなかったと考えております。

桜の開花とともに新センター改築の槌音が響き始めました。都の施策として多摩メディカル・キャンパスは医療ゾーンと療育ゾーンとに区分けされ、武蔵台緑地を望む旧府中病院跡地が新センターを中核とする療育ゾーンになります。この素晴らしい環境の中で、「質の高い療育・医療サービスを提供し、重症心身障害児（者）の生活が豊かなものになるよう支援します」という理念のもと、総合療育センターとして益々発展することを祈念しまして退任の挨拶といたします。

お世話になりました皆様、本当にありがとうございました。



着任挨拶

かいせ よしあき

事務長 貝瀬 由明

はじめまして。この度の人事異動で教育庁より当センター事務長に着任しました。前職は、都立学校の経営支援に携わっておりました。

「保健・医療・福祉」の分野は、約20年ぶり、現場での仕事は初めてですが、新たな仕事に新鮮な気持ちでスタートしております。どうぞよろしくお願いいたします。

私事で恐縮ですが、府中キャンパスには、私がまだ駆け出しの頃、当センターをはじめ、旧府中病院や神経病院などにずいぶんと足を運ばせていただいたことがあり、その頃の面影を残しているたたずまいに懐かしく感じる一方、新キャンパスの大きく様変わりしているところには時代の流れを感じます。

当センターも移転改築に向け工事が間もなく始まります。私も、事務長としてより良い利用者サービスの提供と施設運営に取り組んでまいりたいと考えています。

皆様のご協力をお願いいたします。



退任挨拶

ひらやま のぶお

前事務長 平山 信夫



4月1日付で心身障害者福祉センターに転任になりました。在職中の2年間、皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

2年間を振り返ると、利用者やご家族との交流、センター祭りや季節ごとの行事、新センターの実施設設計検討、旧府中病院の解体など、数々の印象深い場面が脳裏に浮かんできます。どの場面にも共通して感じられるのは、センターの運営理念である「質の高い療育・医療サービスを提供し、重症心身障害児（者）の生活が豊かなものになるよう支援します」を目指す、皆様の熱い思いです。50年近い歴史の中で着実に根付いているものなのでしょう。

長年の念願だったセンター改築については、昨年度実施設計が終わり、いよいよ建設工事が始まる段階になりました。これからも多職種の職員が一丸となって質の高いサービスを提供し、ハード、ソフトの両面で、全国の療育施設のモデルとなるような施設になることを願っています。

着任挨拶

かま えいすけ

看護科長 釜 英介

4月1日付で看護科長に着任しました釜です。

3月までは多摩総合医療センターで、看護担当科長として救急部門や災害関連の業務に携わっておりました。府中療育センターは看護学生の頃の実習以来なので、懐かしくもあり、楽しみでもありました。看護学生の頃の印象は、すごく大変な職場だけど、利用者を大切に想う人たちが集まっている職場だなということでした。今回の異動では、今までに培った経験を生かして、懸命に働く職員や利用者の力になればと思っています。

退任挨拶

まつした ひろみ

前看護科長 松下 博美

桜が咲き誇る春風のうららかな季節となりました。

5年間勤めた府中療育センターを3月末で異動することになりました。

府中療育センターでは、「重症心身障害看護」に取組み、利用者一人ひとりから、非言語的コミュニケーションの重要性を学びました。

4月からは多摩南部地域病院で勤務することになります。今後は地域に根差した医療が浸透するように、センターで培った経験を活かし、看護ができる最善のケアを実践できるように、新たな職場の職員と共に頑張っていきたいと思っております。

着任挨拶

きくち むつみ

看護担当科長 菊地 睦

4月1日付で、病院経営本部 広尾病院から看護担当科長として異動してまいりました菊地睦です。

入都は、墨東病院です。これまで、救急看護認定看護師として救急・災害医療に携わり、救命センター、救急外来、災害担当、外科病棟を経験してきました。

療育分野は初めてですが、担当科長1年目として新しい分野に取り組んでいきたいと思っております。一日も早く慣れて微力ながら府中療育センターの理念をふまえ、質の高い療育・医療サービスを皆さんとともに提供できるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

人事異動

	事務室	医局	薬剤科	検査科	栄養科	看護科	訓練科	指導科	合計
退職者数	1	3	1	3	3	14	0	2	25
転出者数	4	1	0	1	0	9	0	4	19
転入者数	4	1	0	3	2	16	0	6	32
新規採用者数	1	1	0	0	0	11	0	0	13
再任用者数	4	0	0	1	4	7	0	2	18

※退職数・転入数には、退職後、引き続き再任用された職員を含む。

※再任用者数は、平成29年4月1日現在数。

センター新聞編集委員

委員長 事務次長 竹下 勝

委員 医師 齋藤 菜穂、看護科 渡邊 久美子、佐藤 由規子 検査科 村田 俊明
 栄養科 栗林 淳、訓練科 清水 俊一郎、指導科 松井 かやの、事務室 田中 稔浩

平成28年度「福祉サービス第三者評価」の結果について

事務長 貝瀬 由明

福祉サービス第三者評価は、中立的な第三者である評価機関が、様々なデータやヒアリング、施設調査などをもとに、福祉施設の運営やサービス等について客観的な評価を行い、その結果を利用者や事業者によく公表する制度です。

当センターでは、利用者本位のより良いサービスの提供を目指して、平成17年度から継続して受審しているところです。

28年度については、特定非営利活動法人福祉推進機構アシストが評価機関となって実施しました。その概要を報告します。

【 平成28年度 評価結果の概要 】

サービス種別		医療型障害児入所施設	生活介護
区分	特によいと思う点	重症心身障害児（者）に対する高度医療と看護（療育）サービスの提供に向けて先駆的役割を果たしている	重症心身障害児（者）に対する高度医療と看護（療育）サービスの提供に向けて先駆的役割を果たしている
		院内感染対策マニュアルを改定し日常の実践に活かしている	サービス開始前に一日通所体験を実施し、家族や就学時の担当教員の協力を得て早く馴染むように支援している
		地域療育支援事業の一環として、「地域療育講習会」や長期のNICU入院児の在宅への早期移行支援を行っている	個別支援計画書は、利用者のニーズを的確に捉え、人権を尊重した利用者本位のサービスの提供となっている
	さらなる改善が望まれる点	モチベーションの向上に向けた更なる取り組みを期待したい	不適切な事例防止に向け更なる取り組みを期待したい
		個人情報の目的外使用については利用契約書等で範囲を限定しているが、情報保護の観点から再検討を期待したい	業務水準のさらなる向上に向けて取り組み方法などの工夫を期待したい
		家族の高齢化の現状に対して、今後、さらなる家族との連携、成年後見制度の推進が期待される	生活スペースの狭隘化に伴う課題解決に向け、3年後の改築を目指してさらなる工夫を期待したい
事業者が特に力を入れている点	府中療育センター倫理憲章を制定し、倫理の遵守に取り組んでいる	府中療育センター倫理憲章を制定し、倫理の遵守に取り組んでいる	
	機能訓練士は利用者の変形や拘縮状態に合わせて車イスなども作成・修理している	サービスの提供の仕組みを工夫し、家族の利便性を図った支援をしている	
	防犯マニュアルを整備し、また、利用者の感染症対策に力を入れている	利用者のペースを守り、業務の中で実践的に工夫や改善を重ねながら支援をしている	

〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>